



はなもみじ

平成22年 屋代
4月8日 小学校
春秋ことに匂うなり

合言葉は「笑顔いっぱいの屋代小」 ~ 本年度の重点 ~

開校137年を迎える本校は、学校教育目標「豊かな心もち、たくましく生きる屋代の子ども」の具現に向け、教育活動をすすめていきます。本年度は、次の2つを重点とし、学校生活づくりを行ってまいります。

1 伝え合い、響き合い、学び合い、友達の名前がたくさん出てくる授業づくり

自分の考えを聴いてもらえることが実感できる「開かれた学級」づくり

よい学級集団が、よい授業をうみ出します。子どもたちの笑顔があふれることを願い、「道徳教育」(規範意識の向上)「特別支援教育」(障害の理解と支援)「人権教育」(よりよい人間関係づくり)を視点に、一人ひとりがかがやく学級・学年・学校を目指していきます。

「わかった」「できた」実感がもて、「確かな学力が身につく授業」づくり

授業の基本は、「聴く」「話す」。それがあいまって「話し合い」がうまれます。友達との伝え合いを通して、「いい考えだなあ」「わたしはこう思う」...と、互いに学び合う授業を願っています。本年度も、横浜国立大学 石田淳一先生にご指導いただく予定です。



昨年度の石田先生の師範授業

2 地域の人と豊かにつながり、地域の歴史・文化や自然に学ぶ学校づくり

まず教職員が地域に出て、地域の人とつながり、地域に学び、地域を理解

屋代に誇りをもつ子どもを育てるためには、まず教職員が地域を知る必要があります。街頭指導、地域研修や探訪と、これまで以上に地域の方々にお話を聴いたり教を請うたりする機会を増やしていきたいと考えています。

屋代の子として地域の中で学び、地域の方に評価してもらおう場づくり・授業づくり

子どもは「褒めてもらう」ことで、自信を深め、もっと向上しようと努力を始めます。学校や家庭ばかりでなく、地域でも認めてもらうことができれば、一層地域を愛する気持ちも高まります。学習の成果を地域に発信する機会を増やしていくことが目標です。



昨年度の公開参観日
「屋代町を花いっぱい」

最近の学校生活から

地域の方々からの応援をいただき、本年度も教育活動をスタートさせました。



校門の立ち木がより美しくなりました

3月に開催した学校評議員会で、校門付近の杉などの樹木が大きくなり過ぎてしまったことを話題にしたところ、春休み中に評議員の丸山様が中心となり、剪定作業を行っていただきました。すっきりとした庭園となり、桜にも日が当たるようになりました。心より感謝です。

あいさつ標語の看板がもう一つ寄贈されました

屋代青少年育成会様より、本校児童が応募し、屋代1区の標語に採用された看板をご寄贈していただきました。ありがとうございます。学校・家庭・地域で、あいさつの輪を広げていきましょう。

あいさつは あかるく いつでも さきに つづけて



屋代小旧日本館に門札

日本館の外壁塗装が済み、教育委員会生涯学習文化課より、門札用の板材をいただきました。本校の小池先生にお願いし、立派な書を書いていただきました。ご覧ください。

7日(水)支部子ども会開催

1年生も参加して、第1回支部子ども会を行いました。1年間の支部行事の立案、登下校の安全指導(下記参照)、危険箇所の確認等を行いました。

* 主任児童委員様、民生児童委員様、正副支部長様にもご出席いただきました。



右側を1列になって歩く。
信号の変わる間に走って渡らない。
車が止まってくれたときは素早く横断する。
道で悪ふざけをしたり走ったりしない。
通学路を通る(私有地を通らない)。
道草をせず、帰ってから遊びに出る。
防犯ブザーをきちんとつける。

登下校



自転車

線路を横切るときは、踏切をわたる。
踏切を渡るときは、一旦止まって電車が来ないか確認する。
踏切の警報機が鳴ったら、線路に入らない。
踏切の非常ベルで遊ばない。
置き石は電車が脱線したり、多くの方がけがをしたりしてしまう可能性があるため、絶対にしない。

線路

飛び出さない。
ヘルメット着用。
スピードを出しすぎない。危険な乗り方をしない。
* 1・2年は家の人と。